

葛飾北斎

「名所絵揃物三シリーズ」頒布会

～諸国瀧廻り・千絵の海・諸国名橋奇覽～

葛飾北斎は、「富嶽三十六景」（1831-34年）を刊行した直後の1年間に「諸国瀧廻り」、「千絵の海」、そして「諸国名橋奇覽」を次々に発表しました。これらは、一般的な名所絵揃物の枠に収まらない、北斎の芸術感覚と巧な技法が随所にみられる作品集として異彩を放っています。いずれも「富嶽三十六景」や「東海道五十三次」に並ぶ名所絵揃物の名作ですが、「諸国瀧廻り」全8図、「千絵の海」全10図、「諸国名橋奇覽」全11図と、各シリーズの点

数が少ないため、当社では同3シリーズを一冊のバインダーに収めるコレクション頒布会を発足することになりました。本コレクション頒布会は、3シリーズ全29図で作ったオリジナルフレーム切手とポストカードに、図案適応局、または版画の場所を現在に当てはめた最寄り局で押印したマキシマムカードを製作し、解説入りリーフに収めてお届けする本格的な名所絵コレクションです。



諸国瀧廻り
下野黒髪山さきふりの滝



第10回頒布時のリーフ「すほうの国きんたいはし」。

●リーフ解説 大久保 純一氏

1959年徳島県生まれ。博士(文学)。1984年東京大学大学院美術史学専攻修士課程終了。国立歴史民俗博物館教授。専門分野は日本近世絵画史。浮世絵、江戸後期の風景画を研究。著書に『カラー版浮世絵』『千変万化に描く北斎の富嶽三十六景』など多数。



諸国名橋奇覽 すほうの国きんたいはし

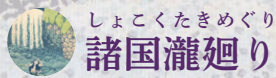
「諸国名橋奇覽」は、天保（1830～44）初年の「富嶽三十六景」のヒットで名所絵ジャンルを確立させた葛飾北斎が、同4年頃から先り出した新シリーズで、全11図、日本各地の名橋・奇蹟を集めたものだが、必ずしも当時存在の橋だけではなく、伝説的なものも含まれている。一方で、京都三條大橋や甲斐の猿橋など有名な橋が含まれていないため、未完の企画だった可能性がある。百図の橋帯幅は全長200m近い5連の木造アーチ橋という珍しい構造から、江戸時代の橋帯付で

西の大園にランクされるほど著名であった。北斎以外にも、酒造英泉や彼川広重らにより浮世絵には繰り返し描かれている。

ただ、北斎がこの橋を描くにあたって、実際に現地を訪れた可能性は低い。遠景の山の形など馬江漢の長崎紀行『西遊雜語』（寛政6年・1794年）中の「岩園瀧帯橋内図」に似ているので、同書を参考にしたのかもしれない。ただ、石積みの橋脚をやたらと高く誇張したところに北斎らしさが出ている。

※リーフとマキシマムカードは制作途中の見本です。

葛飾北斎「名所絵揃物三シリーズ」頒布会



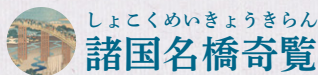
しょこくたきめぐり 諸国瀧廻り

江戸、日光、木曾、東海道といった日本全国の有名な瀧を題材に、「水」の表現に挑んだ大判錦絵全八図からなる名所絵揃物です。「水」の本質を独自の視点で描き出すことを試み、芸術的追究が込められた作品といえるでしょう。「富嶽三十六景」刊行後の1833年頃に出版されたとされています。



ちえのうみ 千絵の海

日本各地の海や川を舞台に、変幻する水の表情と、漁業に携わる人々が織り成す日常がいきいきと描かれた中判錦絵全十図からなる名所絵揃物です。藍のグラデーション、ダイナミックな構図が印象深く、波や水しぶきなど、北斎が追求し続けた「水」を表現した集大成の一つといえるでしょう。「富嶽三十六景」が発表された後の1833年頃に出版されたとされています。



しょこくめいきょうきらん 諸国名橋奇覧

日本全国の実存する珍しい橋や伝説上の橋などをモチーフとした大判錦絵全十一図からなる名所絵揃物です。「奇覧」の名が表すように、実際の橋の構造や奇抜さに注目するとともに、豊かな空想力を発揮してさまざまな角度から橋を描いています。北斎名所絵揃物の最後を飾った作品で、1833年から34年に発表されたとされています。

商品仕様

●マキシマムカード：153×147mmサイズ、オリジナルフレーム切手

1種貼り。全29枚。※写真は、ほとんどを美術館が所蔵品画像として提供しているものを使用しています。そのため、同じシリーズでも版画の色合や状態にばらつきがあります。また、提供元によって画像サイズが異なります。「千絵の海」は、まとまって所蔵しているところがなく、その差異が他のシリーズより多く見られます。

●消印：図案適応局、または特定あるいは想定される現在地の最寄り局の風景印。

●切手：「諸国瀧廻り」「千絵の海」「諸国名橋奇覧」オリジナルフレーム切手63円

●リーフ：全33枚（本文29枚、目次3枚（各シリーズ1枚）、扉1枚）解説付きリーフにマキシマムカードを収める。

●専用バインダー：全1冊を価格3,600円で頒布予定（税込・荷造送料別途、第3回頒布時に同送）

頒布リスト

※頒布順および押印局は予告なく変わる場合がございます。

諸国瀧廻り(全8図)	頒布回・頒布月	リーフ	作品名	押印予定局
①	2022年9月	1	下野黒髪山きりふりの瀧	日光
		2	相州大山ろうべんの瀧	大山
	2022年10月	3	東都葵ヶ岡の瀧	赤坂
		4	東海道坂ノ下清瀧くわんおん	坂下
	2022年11月	5	美濃ノ国養老の瀧	養老
		6	木曾路ノ奥阿弥陀ヶ瀧	北濃
	2022年12月	7	木曾海道小野ノ瀑布	上松
		8	和州吉野義経馬洗瀧	吉野上市
千絵の海(全10図)	2023年1月	9	宮戸川長縄	両国
		10	下総登戸	千葉中央
	2023年2月	11	総州銚子	銚子
		12	相州浦賀	横須賀浦賀一
	2023年3月	13	総州利根川	市川国府台
		14	甲州火振	多摩
	2023年4月	15	五島鯨突	有川
		16	蚊針流	更級
	2023年5月	17	待子網	岩見三内
		18	絹川はちふせ	水海道
諸国名橋奇覧(全11図)	2023年6月	19	すほうの国 きんたいはし	岩国川西
		20	かめみど天神 たいこはし	城東
	2023年7月	21	足利行道山 くものかけはし	足利北郷
		22	摂州阿治川口 天保山	大阪安治川口駅前
	2023年8月	23	山城あらし山 吐月橋	京都西
		24	糸ちぜん ふくの橋	福井足羽
	2023年9月	25	摂州 天満橋	大阪天神橋三
		26	飛越の堺 つりはし	御母衣
	2023年10月	27	かうつけ佐野 ふなはしの古づ	高崎
		28	東海道岡崎 矢はぎのはし	岡崎矢作
	2023年11月	29	三河のハツ橋の古図	知立

頒布内容

●頒布品：毎月1回、2リーフ、最終頒布時1リーフ（全29リーフ）を頒布。※4回、9回、最終頒布時に各シリーズの目次リーフ、3回頒布時に扉リーフをお届けします。

●頒布期間：2022年9月～2023年11月（全15回）

●頒布価：毎月2,100円、最終頒布時は1,100円
（税込・荷造送料毎月別途）

●お支払方法：毎回の頒布品をお受取り後の後払い。

●申込締切日：2022年7月31日（日）

●お申込み番号：99-2281